

インマヌエル中目黒キリスト教会
2012年1月1日
聖日礼拝

年頭講壇

「我が民を慰めよ」

イザヤ書40章1-11節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

旧約聖書

イザヤ書40章1-11節

- 1 「慰めよ。慰めよ。
わたしの民を」と
あなたがたの神は仰せられる。
- 2 「エルサレムに優しく語りかけよ。
これに呼びかけよ。
その労苦は終わり、
その咎は償われた。
そのすべての罪に引き替え、
二倍のものを主の手から受けた
と。」

3 荒野に呼ばれる者の声がある。

**「主の道を整えよ。荒地で、
私たちの神のために、
大路を平らにせよ。」**

**4 すべての谷は埋め立てられ、
すべての山や丘は低くなる。
盛り上がった地は平地に、
険しい地は平野となる。**

5 このようにして、
主の栄光が現されると、
すべての者が共にこれを見る。
主の御口が語られたからだ。」

6 「呼ばわれ」と言う者の声がある。
私は「何と呼ばわりましょう」と答えた。
「すべての人は草、その栄光は、
みな野の花のようだ。」

7 主のいぶきがその上に吹くと、
草は枯れ、花はしぼむ。
まことに、民は草だ。

8 草は枯れ、花はしぼむ。
だが、私たちの神のことは
永遠に立つ。」

9 シオンに良い知らせを伝える者よ。
高い山に登れ。
エルサレムに良い知らせを
伝える者よ。
力の限り声をあげよ。
声をあげよ。恐れるな。
ユダの町々に言え。
「見よ。あなたがたの神を。」

10 見よ。神である主は
力をもって来られ、
その御腕で統べ治める。
見よ。その報いは主とともに
あり、その報酬は主の前にある。

11 主は羊飼いのように、
その群れを飼い、
御腕に子羊を引き寄せ、
ふところに抱き、
乳を飲ませる羊を優しく導く。

説教

年頭講壇

「我が民を慰めよ」

イザヤ書40章1-11節

竿代照夫牧師

主テキスト：

「『慰めよ。慰めよ。
わたしの民を。』と
あなたがたの神は
仰せられる。」

(イザヤ 40 : 1)

A . 「慰めのメッセージ」の背景

1 . イザヤ書全体から見る

	章	対象	内容
前編	1 - 39	時代に対する メッセージ	イスラエル への審判
後編	40 - 66	将来的 メッセージ	イスラエル の回復

2 . 4 0 : 1 - 1 1 の位置と内容

節	語りかけ	対象	内容	新約の成就
1-2	慰めよ	預言者	捕囚からの 釈放	キリストの贖い (ルカ2:25)
3-5	道を整え よ	預言者	帰還の準備	バプテスマの ヨハネ (ヨハネ1:23)
6-8	呼ばわれ	預言者	神の言葉は 永遠	福音の言葉は 永遠 1ペテロ1:23-25
9-11	声をあげ よ	預言者	統治し、ケア し給う主の 来臨	良き羊飼いなる イエス (ヨハネ10章)

B . 「慰め」のメッセージ

- 1 . 慰めは主から来る
- 2 . 慰めを伝える預言者
- 3 . 慰めを必要としている民
- 4 . 実体（贖いの事実）の伴う
慰め
- 5 . 「虚しい慰め手」エリファズ
(ヨブ 2 : 1 1-1 3、 1 6 : 2-3)

6 . 慰めを得て、伝えたパウロ (コリント 1 : 3 - 7)

- 神は慰めの源であり、
慰めを専門とする方 (3 節)
- 神からの慰めを自分が頂くこと
で、他人を慰めうる (4 節)
- 苦難が大きければ大きいほど、
慰めも大きい (5 節)

- 神からの慰めは、困難に耐える
力を与える（ 6 節 ）
- 苦難を共有するものは、
慰めをも共有する（ 7 節 ）

7 . 私たちも慰め手となろう

「ああ主よ、私に、
慰められるよりも、
慰めることを、

・ ・ 求めさせてください」

(アッシジのフランシスの祈り)